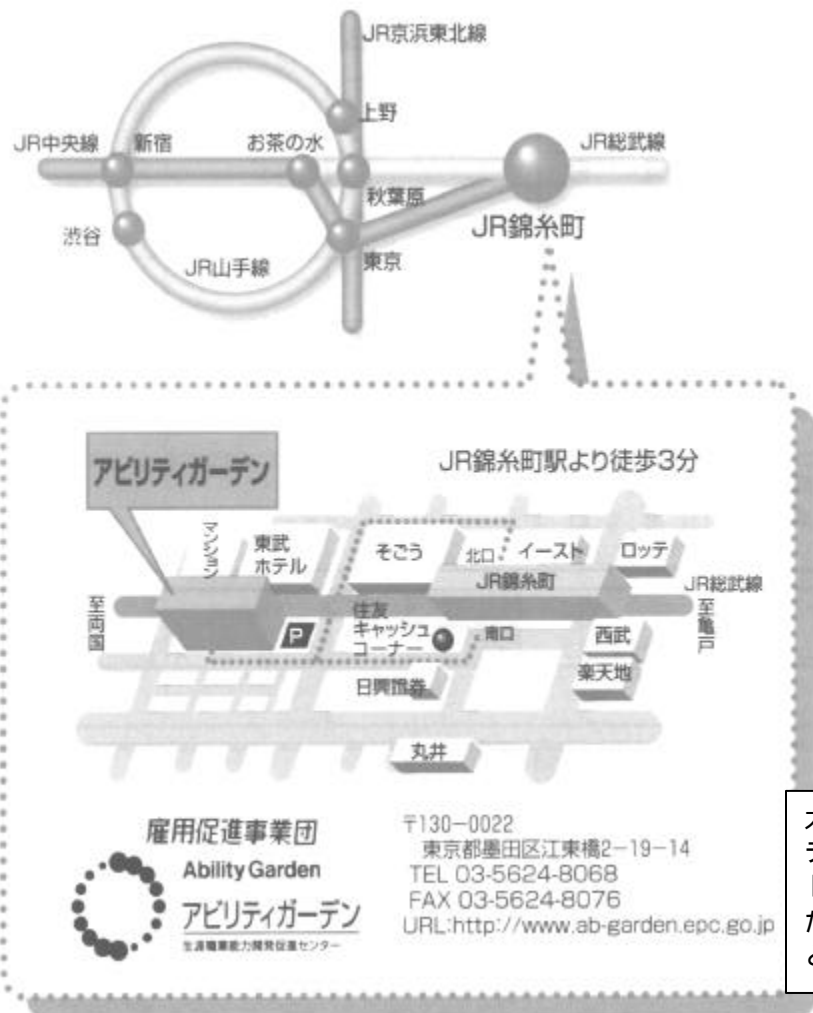


日本産業教育学会第40回大会参加要項（参加費）

		当日	事前振込
会員	一般	1,500円	1,000円
	学生	1,000円	500円
懇親会		5,000円	4,000円

事前振込は、10月14日の消印まで有効です

大会会場・施設見学会場のご案内
生涯職業能力開発促進センター(アビリティガーデン)



日本産業教育学会第40回大会
プログラム & 発表要旨集

1999年10月24日(日)～25日(月)



大会日程

	10:00	11:40	13:00	14:40	15:00	16:00	17:00	18:30
10月24日(日)	受付	研究発表 A・B	理事会 休憩・昼食	研究発表 C・D	移動	公開特別講演	総会	懇親会

	10:00	11:00	12:00	14:30
10月25日(月)	施設見学	昼食	公開シンポジウム	

大会準備委員会

生涯職業能力開発促進センター(アビリティガーデン)内

〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-19-14
TEL 03-5624-8038 FAX 03-5624-8076

郵便振替口座 00170-6-368704

研究発表・特別講演プログラム

会員控え室・休息室 407室

時 間	研究発表 A (402号室) 司会 浅野 かおる (福島大学)	研究発表 B (202号室) 司会 坂野 慎二 (国立教育研究所)
10:00-10:25	A-1 調理操作分析に基づくカリキュラム編成 - 料理中心から調理技能中心カリキュラムへ - 渋谷久恵・松谷由紀子・山本妙子・平山素子・新井吾朗・森和夫	B-1 タイにおける職業教育の発展と改革動向 - 後期中等教育段階のカリキュラム開発への国際組織と援助国の影響 - サンポー プンパン・寺田 盛紀
10:25-10:50	A-2 ビル設備管理業における資格制度 従業員のキャリアと資格取得状況を中心に 新井 吾朗	B-2 中国における農村職業教育の展開 - 農村職業技術学校の若干の事例に即して - 陸 素菊
10:50-11:15	A-3 職業リハビリテーションにおける職業訓練の課題 平川 政利	B-3 中国瀋陽市の中学校教科書「労働技術」の教育内容 角 和博・温 愛玲・曹薇薇
11:15-11:40		B-4 ドイツ職業教育学とその教育システム 寺田 盛紀
11:40 ~ 13:00	休 憩・昼 食 (1階 レストラン)	理事会 (6階 研修室)
	研究発表 C (402号室) 司会 梶田 嘉生 (前鹿島建設)	研究発表 D (202号室) 司会 横尾 恒隆 (岩手大学)
13:00 ~ 13:25	C-1 知的財産権遠隔学習用教材の制作と評価に関する考察 木村 友久	D-1 国民学校実業科工業教科書『高等科工業 上・下』と隈部一雄 丸山 剛史
13:25 ~ 13:50	C-2 経営戦略に基づいた新しい人材教育のあり方 - コーポレートユニバーシティの可能性と組織へのインパクト - 昆野 安里子・花田 光世	D-2 児童生徒のものづくりの経験が意欲、技能、技術観に及ぼす影響について - 小学校3年生～中学校3年生までの横断的検討 - 土井 康作
13:50 ~ 14:15	C-3 企業内教育の目的は顧客満足 (CS) と従業員満足 (ES) の向上 安藤 正樹	D-3 女子高等学校生徒の職業選択能力の評価 - F式選職能力テストによる3か年縦断的研究 (1995～1997) - 吉田 隆夫
14:15 ~ 14:40	C-4 私的大病院事務職員のキャリア開発に関する研究 渡辺 明良・森田 一寿	D-4 複数の職業学科をもつ専門高校から転換した総合学科の進路希望の変化と科目修得実態 大河内 信夫
14:40 ~ 15:00	移 動	移 動
15:00 ~ 16:00	特別講演 「21世紀の産業教育学に期待すること」 江頭 年男氏	アビリティーガーデン館長・日経連特別顧問・日通工株式会社相談役 (4階ガーデンホール)

発表要旨

A-1 調理操作分析に基づくカリキュラム編成

- 料理中心から調理技能中心カリキュラムへ -

..... 渋谷久恵・松谷由紀子(神奈川県立紅葉丘高等職業技術校)
山本妙子(神奈川県立小田原高等職業技術校)
平山素子(大妻女子大学生生活科学研究所)
新井吾朗・森和夫(職業能力開発総合大学校)

一般に専門学校等の調理学習カリキュラムは料理中心で編成されており、職業訓練施設においても同様の傾向があった。しかし、これらは限られた訓練時間の中で調理作業の応用力を養成するためには非効率といえる。そこで、調理操作を分析し、給食調理現場の期待に応える効率の良い調理技能中心のカリキュラム編成を試みた。その結果、多くの重複を排除でき、合理的に実践力を高め得る内容への改善が可能になった。

A-2 ビル設備管理業における資格制度

従業員のキャリアと資格取得状況を中心に

.....新井 吾朗(職業能力開発総合大学校)
資格制度は単独であるのではなく、それぞれの職業に適合して活用されている。資格制度を有効に機能させるためには、資格が職業の中でどのように活用されているのかについての把握が欠かせない。今回、ビル設備管理職場従業員のキャリアと資格取得状況を調査した。この結果、取得する資格に特徴があること、資格取得状況に一定の規則があることなどが見出されたので報告する。

A-3 職業リハビリテーションにおける職業訓練の課題

.....平川 政利(吉備高原職業リハビリテーションセンター)
職業リハビリテーションはILOの定義が一般的であり、職業指導、職業訓練、職業紹介を含むものとなっている。日本における障害者雇用支援も職業リハビリテーションの原則を踏まえた諸施策をとっているものの、こと職業訓練においては職業リハビリテーションの一環としての位置づけは薄い。このような観点から障害者に対する職業訓練の課題を整理し、今後の方向性を探っていくこととする。

B-1 タイにおける職業教育の発展と改革動向

- 後期中等教育段階のカリキュラム開発への国際組織と援助国の影響 -

.....サンポー プンバン(名古屋大学大学院)・寺田 盛紀(名古屋大学)
タイの職業教育は、アメリカ合衆国の学校モデルを基礎に発展してきた。しかしそれは、雇用者の要求にほとんど合致していなかった。この状態を改めるために、1987年にドイツのデュアルシステムモデルがパイロット事業として開始された。また、1997年7月の経済危機以降、職業教育政策は、IMFとアジア開発銀行の管理下にある。本発表は、国際組織と先進国の影響下でのタイ職業教育の発展動向を明らかにするものである。

B-2 中国における農村職業教育の展開

- 農村職業技術学校の若干の事例に即して -

.....陸 素菊(名古屋大学大学院)

本発表は、社会主義市場経済下の中国職業教育に関する研究の一環として、80年代以降「農（農村経済）、科（農村科学技術）、教（農村教育）との結合」をスローガンに進められている農村地域総合開発計画における農村職業教育の再編とその実態を、若干の省・県レベルの職業技術教育学校の事例に即して検討する。

B-3 中国瀋陽市の中学校教科書「労働技術」の教育内容

..... 角 和博(佐賀大学)・温 愛玲・曹 薇薇(佐賀大学大学院)
瀋陽市教育委員会の中学労働技術課教材編集組で編集され、中国遼寧省中小学教材編審委員会から認定された瀋陽市の全日制初中労働課本「労働技術」は、都市用と農村用に別れてそれぞれ6冊ずつある。今回は都市用の試用本の第一、第二冊（中学1年生用）、第三、第四冊（中学2年生用）、第五、第六冊（中学3年生用）の全六冊の目次と内容を調査した。出版社は瀋陽出版社で1994年7月から1996年12月に出版された。

B-4 ドイツ職業教育学とその教育システム

.....寺田 盛紀(名古屋大学)
わが国の職業教育研究の学的発展を展望し、この分野の「先進国」ドイツの職業教育学とその教育システムを検討する。ドイツの職業・経済教育学は職業教育の概念・実態を反映して、段階別、分野別、問題別に、研究対象を狭く設定する傾向にあること、演繹的アプローチによる研究が目立つこと、教育（指導者養成）システムにおいても「デュアルシステム」がみられ、かつ、複数専門主義に立っていること、などが例証される。

C-1 知的財産権遠隔学習用教材の制作と評価に関する考察

.....木村 友久(都城工業高等専門学校)
本報告は、昨今のネットワーク環境に適合する学習方法に関して、ホームページを利用した実践的試案及び派生的事項の検討を目的としている。即ち、組織内及び産業教育遠隔学習という複合的用途を想定したホームページ教材の制作過程等を紹介、当該サーバーのアクセスログから利用形態をパターン化することで教材の効果を検証する。同時に、学生自身が制作過程に関与したことによる組織内での授業改善効果についても検討を行う。

C-2 経営戦略に基づいた新しい人材教育のあり方

- コーポレートユニバーシティの可能性と組織へのインパクト -

..... 昆野 安里子・花田 光世(慶応義塾大学大学院)
アメリカ高業績企業(Fortune 500 社の40%)が、企業内大学によって経営戦略と従業員のスキルとの整合性を図り、ビジョンの共有と企業文化の浸透を進めている。本研究は、アメリカ企業内大学における人材教育から、個人の学習を組織能力向上へと発展させる仕組み、教育効果、個人のキャリア形成への影響などを探り、日本企業における企業内大学による人材教育の可能性と、その効果的導入を提案するものである。

C-3 企業内教育の目的は顧客満足（CS）と従業員満足（ES）の向上

.....安藤 正樹(NECユニバーシティ)
企業による「従業員への教育機会提供」の目的は、大きく変化してきている。従来は『従業員の能力向上の為の必要条件』であったが、現在は『「顧客満足（CS）」と「従業員満足（ES）」の両者を同時に提供する為の必須条件』となっている。即ち、能力強化の機会提供が、従業員の専門性強化と共に自律性強化を促進し、その自律性の向上が、「顧客の視点での顧客価値の提供」を可能にする。ここでは、その考え方を説明する。

C-4 私的大病院事務職員のキャリア開発に関する研究

.....渡辺 明良(聖路加国際病院)・森田 一寿(産能大学)
本研究は、病院経営環境の変化に対応するための具体的な病院管理手法の一つとして、私的大病院事務職員のキャリア開発の現状と問題点を整理して、あるべきキャリア開発のモデルを構築し、主要病院における調査分析によりその妥当性を検証したものである。これにより、私的大病院における病院経営管理者や不可欠な専門性を持った人材を育成するために必要なキャリア開発のあり方とその有効性についての考察を加えた。

D-1 国民学校実業科工業教科書『高等科工業 上・下』と隈部一雄

.....丸山 剛史(東京学芸大学大学院)
本報告の目的は、戦後日本における普通教育としての技術教育の教育課程編成史研究の一環として、国民学校実業科工業教科書『高等科工業上・下』(1943,1944)編纂における隈部一雄の関係と役割について若干の考察をおこなうことである。研究の方法として、同書編纂事務を担当した木下広居の編纂過程に関する記述をもとに、芸能科工作との関係、工作教科書編纂に活躍、貢献した隈部一雄との関係などについて明らかにしていく。

D-2 児童生徒のものづくりの経験が意欲，技能，技術観に及ぼす影響について -小学校3年生～中学校3年生までの横断的検討-

.....土井 康作(鳥取大学)
"子どもの手が虫歯になった"問題指摘は、幼児期・児童期の多様な体験の必要性を示唆している。本研究の予備調査において、土井ら¹⁾は、現代の子どもの遊びやものづくりが一元化している状況、経験量と器用・不器用意識との関係性を明らかにした。本研究は児童・生徒を対象に、ものづくりの経験量の意識が意欲，技能意識，作業意識，技術観にいかに関与しているかを検討することを目的とする。1)土井・舟津 ものづくりの器用・不器用意識と生活経験に関する基礎的研究 日本産業技術教育学会中国支部大会講演要旨集，1999

D-3 女子高等学校生徒の職業選択能力の評価 - F式選職能力テストによる3か年縦断的研究(1995～1997) -

.....吉田 隆夫(芦屋大学)
女子高等学校生徒の職業選択能力を評価するために、同一の生徒318名を対象に3か年間継続的にF式選職能力テストを用いて調査を実施した。この結果をもとにして女子高等学校生徒の自己分析、職業分析、適職理解、職業試行、選職能力、適職傾向の各指数について考察した。さらに3か年間の職業選択の過程並びに選択した職業群の傾向についても報告する。

D-4 複数の職業学科をもつ専門高校から転換した総合学科の進路希望の変化と科目修得実態

.....大河内 信夫(静岡大学)
平成7年度に設置された高校総合学科について、総合・自由選択科目の修得実態と進路希望の変化を各年次ごとに調査した結果を報告する。総合学科の教育の特色に「将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習の重視」が謳われており、この点に注目して、生徒の進路希望の変化に伴う科目修得の結果を考察し、総合学科における進路指導と科目選択指導の課題を抽出することを試みる。

公開シンポジウム 「21世紀の産業教育研究の課題」 (4階ガーデンホール)

「労働・産業構造の変化と産業教育研究の理論的課題」 佐々木 英一(追手門学院大学)

現在、労働・産業の構造が大きく変化している中で、教育の中でその影響をもっとも直接的にこむる産業教育の研究における理論的な究明の課題は、多岐にわたるが、本発表では大きく以下の点について述べたい。

1. 教育と労働・職業の新たな関係についての原理的把握
2. 学校教育と学校外での教育・訓練の新たな関係についての問題点の理論的整理
3. 職業教育及び職業訓練の公共性についての現状分析と問題点の把握
4. 職業能力の内容の把握とその形成についての理論的課題

「これからの産業教育制度 - その枠組と課題 - 」 大淀 昇一(東洋大学)

制度というのは、社会学の方でいろいろ把握の仕方があるが、私はこう考えている。産業教育制度を構成するさまざまな行為は、この制度を統合する行為局面と、この制度の担い手を教育・養成する行為の局面と、この制度について研究をする行為の局面と、さらに産業教育という実践の行為局面、この四つの行為局面で構成されていると考える。そして、産業教育制度は人間諸個人の中に理論性(theory)と実務性(practice)の調和(harmony)を実現するという役割を負いつつ、産業生産の展開を支えるという関係に立っている。ところが、21世紀に向けて、この産業生産が従来のような物作り orientedではなくて環境 oriented な方向で展開されねばならないことが語られるようになってきた。この動向の中で上記四つの行為の局面はいかにあらねばならないか考察したい。

「産業と近接した産業教育学の方向 - 現場に根ざした研究の方法論」 森 和夫(職業能力開発総合大学校)

産業教育学が機能するには産業における現象や状況、課題に根ざしていなければならない。そのためには研究方法を設定する際にそのことを意図する必要がある。これからも産業教育学が期待され、一定の成果を出し続けるには、この要件を再考しなければならない。制度研究、内容研究、方法研究の各エリアにおいても、これは重要である。産業における現象や状況・課題を縦軸におき、産業教育学の研究主題を横軸において描かれるマトリクス上に産業教育学の研究手法群を配置してみると、そこには新たな研究の方向を示唆するばかりでなく、これまでと異なる学問体系の糸口を見出すことができる。

指定討論者 佐々木 享(愛知大学短期大学部)

指定討論者 元木 健(川村学園女子大学)

司 会 小澤 周三(東京外国語大学)